

平成二十一年十二月二日提出  
質問第一六四号

ODAに対する行政刷新会議の「事業仕分け」に関する質問主意書

提出者 小野寺五典

ODAに対する行政刷新会議の「事業仕分け」に関する質問主意書

政府の行政刷新会議の「事業仕分け」において、無償資金協力援助のうち、いわゆる「ハコモノ無償」に對して、予算要求の縮減（三分の一程度）との評価結果が示された。

このことを踏まえ、以下の通り質問する。

一 途上国援助に関し、「ハードな部分から、ソフトな部分へ」との評価が下されたようであるが、この考えは、どこから発生したものなのか。昨今の途上国の要請の傾向の変化を踏まえたうえでの結論と考えるか。政府の認識如何。

二 政府は、内政面では「コンクリートから人へ」という考え方を持っているように思われるが、途上国に對する支援の考え方も、同様の考えをもって臨むつもりなのか。

三 現状において、我が国の支援に對する、受け手の途上国の要望は、ハードとソフト（子育て支援や環境分野など）のどちらが多いのか。

四 途上国支援に際しての、事業等の決定の基準は、途上国のニーズに基づくもの、我が国の援助哲学に基づくもの、どちらが優先されるべきであると考えるか。政府の認識如何。

五 「事業仕分け」の評価を受けて、今後の政府の途上国支援に対する方針は変更されるのか。  
右質問する。